

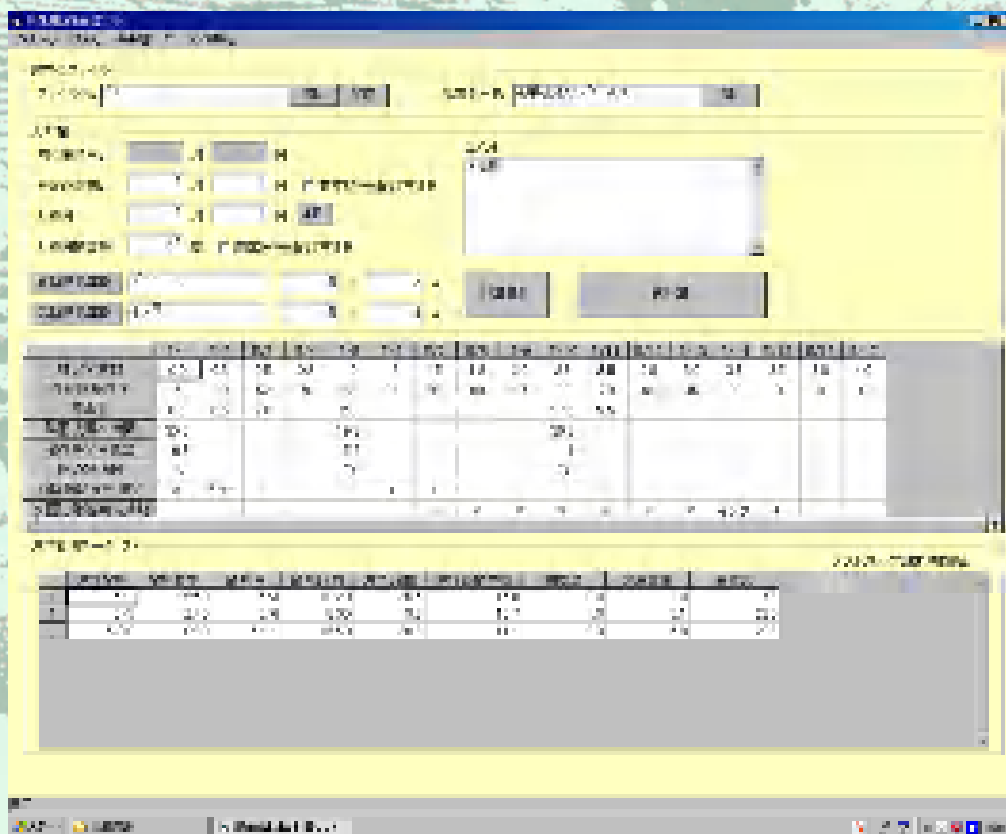
パソコンで利用できる チャ炭疽病防除支援システムの開発

[研究のねらい]

- ・炭疽病は新芽の生育期に病原菌が雨媒伝染し、葉に大型の褐色病斑を生じるとともに、著しい落葉被害を引き起こすチャの最重要病害である。
- ・感染時の新芽の生育程度と炭疽病の発生程度との関係を解明し、新芽生育に伴う感受性程度を示すモデル式が完成した。そこで、このモデル式と、各種殺菌剤の予防・治療期間のデータおよび病原菌の感染に關与する気象データを組み合わせることにより、パソコン画面上に防除適期が示される「チャ炭疽病防除支援システム」を開発する。

[研究の成果]

- ・(独)中央農業研究センターモデル開発チームおよびカワサキ機構(株)の協力を得て、システムを開発した。動作に必要なパソコン環境は、Windows(XP以上のバージョン)である。実際の使用にあたっては、表計算ソフト「Excel」使用時と同様な操作が必要となる。
- ・開葉数(新芽の生育程度)は、直接入力するか、又は前回の摘採日を入力することによって自動計算させる方法のいずれかを選択することが出来る。
- ・降水量および気温のデータは、直近のアメダスデータを近似値として代用することが可能である。
- ・本システムを使用するには、葉の濡れ時間の測定(「結露計」の購入)が別途必要である。



作成されたソフトの表示画面

問い合わせ先 生産環境(病害虫) 0548-27-2885
代表 0548-27-2880
E-mail: ES-kenkyu@pref.shizuoka.lg.jp